

学術情報システム総合WS グループ討論

国立情報学研究所

学術基盤推進部 学術コンテンツ課

高橋菜奈子

本ワークショップの狙い

- 個別の機関で解決不能な共通する課題について、連携・協力して取り組み、問題解決を図ることのできる総合力を身につける。
- ワークショップでアイデアを出し合うだけではなく、その実現のために**実際的な調査**を行うことで実践的な問題解決への道筋をつける。
- 全体テーマに即した個別の作業課題を設定し、グループや講師とのコミュニケーションを通じて、**連携・協力して成果**を出す。

今年度のテーマ:

- デジタル化された資料の活用
- 電子図書館あるいは機関リポジトリ事業として各大学でデジタル化された資料について、紙媒体の資料と併せて活用することが望まれている。当面の課題として、例えば、各図書館でデジタル化された所蔵資料の把握や、適切な発見環境の整備などが挙げられる。
- 2つのグループ設定
 - (1) デジタル化された資料の状況調査と組織化
 - (2) デジタル化資料のデータベース(NDL、HathiTrust等)と連携した検索環境整備
- 詳しくは午後一の全体討議で！

研修のスタイル

・ 3回の集合研修と自館における研修

7/12		9/12-13		12/10
集合研修	自館研修	集合研修	自館研修	集合研修
ビジョンを共有し、課題を発見する	課題解決のための調査を実施する	グループの課題解決のための計画を策定する	計画を実施する	成果の発表とフィードバック
研修の趣旨とゴールを共有し、当面の作業課題を設定する。	各グループ内で相談しながら、課題解決のための情報を収集する。	解決策を具体化し、その中で自分の役割と次の課題を明確にする。	各グループで相談しながら、計画を実行する。	成果を発表し、今後のことを考える

今回のゴールと次回への宿題

今回

- 全体でビジョンを共有し、グループごとの課題を設定する
- その上で、各個人での作業課題を設定する。

宿題

- 作業課題を実施し、中間報告を行う。
→次回個人プレゼンテーションをしてもらいます。

次回

- 個人の作業をもとに、グループとしての課題解決のための計画を策定する

グループ討議カリキュラム

11:00-11:30	30分	ワークショップ趣旨説明
11:30-12:00	30分	事前課題発表
12:00-13:00	60分	ランチミーティング:自己紹介
14:00-14:30	30分	全体討議:ビジョンを共有する
14:30-15:10	40分	グループ討議:課題を発見する
15:10-15:20	10分	《休憩》
15:20-16:00	40分	グループ討議:目標を設定する
16:00-16:40	40分	グループ討議:作業課題を設定する
16:40-17:30	50分	グループ発表と宿題決定
17:30-18:00		《休憩》
18:00-20:00	120分	情報交換会:振り返り

ワークショップの3つのルール

- ①全員が参加する。
 - 考え付いたことはすべて発言する。
 - 分からないことは質問する。
 - チームの活動に貢献する。
- ②違う意見を尊重する。
 - 他人の発言をさえぎらない。
 - 他人の発言を批判しない。
- ③全員が平等である。
 - 年上も年下も発言の重みは同じである。
 - 受講生も講師も主催者(NII)も発言の重みは同じである。

最終結論が「NIIさんお願いします」はNGです。
大学図書館とNIIが協働するために、自分達にできることを考えましょう。

事前課題に入る前にウォーミングアップ

- 同じグループの人(3人1組)で自己紹介をしてください。(1人3分程度)

別紙
提出締切: 7/2 (月) 17:00.
提出先: edu-research@nii.ac.jp

平成 24 年度 NACSIS-CAT/ILL ワークショップ自己紹介シート

所属機関名□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
氏名□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

1. 自己アピール

あなたの得意分野・自慢できることは？

あなたの図書館はどんな図書館？(目録担当者の人数、業務体制、年間整理冊数、レコード調整件数など自身が所属する図書館室についてご記入ください。)

あなたにとって理想の図書館とは？[その実現のためにあなたは何が出来る？]

2. CAT/ILL ワークショップへの意気込み

ワークショップで何を議論したい？何を得て帰りたい？

※受講者全員および講師に配付しますのであらかじめご承知おまください。

事前課題プレゼンテーション

- 付箋に、良かったと思うアイデア、課題になりそうな点など、気がついたことを、1項目1枚書いてあげてください。
- 後で本人に渡します。

●●さんのプレゼン

△△△は面白いと思った。

●●さんのプレゼン

〇〇〇は実現が難しいのではない
か？

ランチタイム(60分)

- ・自己紹介シートを持って行ってください。
- ・質問バスケット
- ・ご飯を食べながら、1人1枚質問を書いてかごに入れてください。
 - ・1人1分程度で答えられる簡単な質問
 - ・図書館やWSに関係のある質問が望ましい
- ・後半30分で質問用紙を引いて答えていきます。

全体討議:ビジョンを共有する(30分)

図書館は何のために資料を
デジタル化するのか？

図書館は何のためにデジタル化するのか

- 利用の目的？
 - 利用／保存 研究／教育
- 誰のため？（どんな利用者のため？）
 - 時間：現在と未来
 - 空間：自分の大学→日本→世界
- すべての利用者に今あるすべてのデジタル化された資料をとどけるためのことを次のセッションでは考えましょう

グループ討議：課題を発見する(40分)

利用者は今ある資料をうまく探す
ことができるか？

事前課題プレゼン振り返り

- Aさんの問題意識について意見交換(5分)
- Bさんの問題意識について意見交換 (5分)
- Cさんの問題意識について意見交換 (5分)

課題は何かをまとめる

- グループとして掘り下げるべき課題をまとめてホワイトボードに書いてください。(15分)
- 課題はどこにあるのかをまとめます(10分)
- 参考:グループ設定
 - (1)デジタル化された資料の状況調査と組織化
 - (2)デジタル化資料のデータベース(NDL、HathiTrust等)と連携した検索環境整備

利用者は今ある資料をうまく探すことができるか？

- (1)今ある
 - そもそもどこにあるかがわからない
 - 日本で全体量を把握しているのか
- (2)うまく探す
 - 利用者の入口はどこか？動線の上に割り込んでいるのか
 - まとめて探すためにはどうすればいいか
- 課題となっていることは2つ
 - 何があるかわからない→まとめて探せない
 - わかっているものも、本文データとつながらない→まとめて探せない

グループ討議：目標を設定する(40分)

デジタル化された資料を
活用してもらうために
私たちは何をすべきか？

グループの目標を設定する

- 将来の理想像を描き，課題解決のためのアイデアを出し合いましょう。
- ブレインストーミング方式とし，アイデアをなるべく多く出しあいましょう。(15分)
- 12月までにグループで何を解決したいか目標を決めましょう。
- 目標を1文でまとめてください。(15分)

グループ討議：作業課題を設定する(40分)

私たちが最初に
調べなければならない
ことは何か？

作業課題を設定する

- 課題解決のために、今、不足している情報は何か、まず調査しなければならない情報は何かを考えましょう。(10分)
- 調査実施のための方法論を考えましょう。(20分)
- 個々人のグループ中での役割を考えましょう。(10分)
- グループとしての作業課題をまとめ、発表の準備をします。(10分)

グループ発表(40分)

発表

- 今日の議論のまとめと次回までの計画について、グループごとに発表してください。
- 次回までの個人の作業課題についても、発表内容に含めてください。
- 発表の形式にこだわる必要はありません。
- 時間は1グループ10分以内

意見交換

- 講師・オブザーバー・受講生からのコメント・意見交換(10分)

次回までの作業課題を整理する(10分)

宿題

- 各グループ内で相談しながら、課題解決のための調査を実施し、中間報告を提出する。

提出物: 調査の概要(パワーポイント)

調査結果(データ等)

※切: 9月5日(木)

→次回, 個人プレゼンテーションをしてもらいます。

次回の予定

- 個人の作業をもとに、グループとしての課題解決のための計画を策定する。

振り返り

- 情報交換会にて、一人一言お願いします！
- 「2ストライク1ボール」で今日のWSを振り返りましょう。
 - 良かったこと2つ，悪かったこと1つ